

かえせ！

岡部竜弥

【音響・照明 想定】

音響

- ・猫の鳴き声 (普通)
- ・猫の鳴き声 (優しい)
- ・猫の鳴き声 (甘い)
- ・卵が割れる音
- ・朝の公園の環境音

照明

- 希望 (優先順位、降べきじゅん)
- センターに円をつくれる赤の照明
- センターに円をつくれる青の照明
- センターに円をつくれる緑の照明

かえせ！

【1】

照明・カット明転 生地灯り&シーリング

赤い服を着た女の子が立っている。

大人びた雰囲気か漂っているが、どこか疲れているようにも見える

女の子は小学生のようだ。

どうるるるる、どうるるるる、どん！

っという音が閑静な住宅地、の、ゴミ捨て場、の、数メートル前にて響き渡ったのが始まりです。

大きな大きなその車体では、轆いた感覚がなかったのか、それとも、ただ単純に無視したのか。

とにかく、ゴミ捨て場の前でそれは起こりました。

少女、猫の死体がある場所を指差す。

照明・フェードセンタースポット

ちよーどゴミ捨て場とそれが同時に目に入ります。

違うのに、絶対にそんなことは無いのに、それがゴミに捨てられているように、ともすると私が捨ててしまったように、思えます。

そつと、猫を拾います

女の子、「それ」に近づく。

縄の猫を手を持つと、その形は崩れる。

それを、拾います。

命が無くなって、そのまま体の形まで無くなってしまったように感じます

ああ、何だか、まだちょっとあつたかい

黒い毛がテカテカしています。きつと血だと思いますが、黒の上に赤があっても、よく解りません。

ああ、赤い服を着ていてよかった。と思いつながら、私はそれを、

——家に連れて帰ることにしました。

綺麗な毛並みの可愛い黒猫。

死んでいるので名前は、いりません

かえせ！

かえせ！

女の子、猫を抱え込むように抱き込み、丸まっていく。そしてそのままゆっくりと前転し、仰向けに寝転がる。

照明…寝転がった後、数秒かけてフェード生地灯り

【2】

女の子、舞台中央で仰向けに寝ている。

ここは女の部屋。

少女、目をこすりながら時計を見る。

8時…、8時？

女の子、慌てて起き上り、周囲を見渡す。

そして何かに思い至ったかのような表情をし、溜息をつく

ああ、そうか。

あ、実は、私の母は妊娠しております、今日は定期健診のために、早めに家を出ているんです……

遅刻するのを叱られず、安心した。と言う次第です

……どうせ遅刻するなら。ゆっくりでいいか。

女の子、リビングに置いてある朝ごはんを持ってくる。

「チンして食べて。遅刻しない様に。パパ」

んん、別にいっかな。冷たくても。

女の子、片手間にリモコンでテレビをつける。

画面をじっと見つめながら、朝食を口に運ぶ

そっか、この時間これやってんだ。

いやあ、毎度毎度大変だろうなあ。どうやって考えてんだろ。

女の子、テレビの様子を目で追って

鼻歌でピタゴラスイッチを歌う

女の子、徐にテレビを消しす。

猫の声が聞こえてくる

音響…猫の無き声（普通）

女の子、空耳だと数度聞き流すが、そうではないと気付くと、二階の猫を入れているとこ

かえせ！

ろに走って向かい、確認する

恐る恐る机の引き出しを開けるが、その中に入れていた猫がやはり死んでいるのを見て、安心する

また、猫の声がする

音響：猫の鳴き声（普通）

死んでいました。あの猫は、絶対に、死んでいました。

女の子、急に恐怖がぶり返してくる

お母さん、お父さん！！

当然、何度叫んでも返事はない。

女の子、頭を抱えてブルブルと震えだす。

酷いよ……

また、猫の声が聞こえる。

音響：猫の鳴き声（優しい）

女の子はさらに深く頭を抱えるが、今度の鳴き声は、どこか優しく聞こえる。

女の子、顔を上げて、耳を傾ける。

猫の声が聞こえる。

音響：猫の鳴き声（優しい）

少女、気持ちが和らいだような顔をする

照明：フェードセンタースポット

かえせ！

【3】

女の子、そのまま朝の準備を済ませ、登校する

それ以来、たまに、猫の鳴き声が聞こえる様になりました。

朝ご飯を食べている時。お風呂をためている時。あとは、登校中？

まあ、そんな感じで、基本的に一人でいるときに、この声が聞こえてくるようになりました。だいたい、二か月くらい。

これはきつと、妖精とかそんな感じで、特別なものにしか聞こえない不思議な声——

多分、幻聴です。：：病気です。

本当は、病院に行かなければいけないのですが：：

嫌でしょう。お祝いムードを邪魔されちゃあ。

新しく家族が増えるんですから。

まあなので、しばらくこの幻聴、もとい、不思議な猫の声とは付き合っていこうと思います。なんて考えているうちに学校が終わって。

少女、玄関のドアを開ける

照明…ドアを開ける動作に合わせてカットイン 生地灯り

扉の奥から、お帰りーと声が聞こえてくる

母のようだ

：：ただいまー。

大丈夫だった？

そっか、そっか。

全然お腹大きくないね。

：：：へえ、そうなんだ

え？ あ、うん。いいの？ ありがとう

少女、促されて、母のお腹を撫でる。

猫の声が聞こえる。が、無視する

音響…猫の鳴き声(普通)

かえせ！

やっぱり、全然分かんないや。

あのさ、今日国語の授業でさ——ああ、いや。何でもない。

それより、ゆっくりしてなよ。

大丈夫大丈夫。洗い物くらいなら、一人でできるし。

うん。お父さん帰ってきたら呼ぶから。

母、寝室に向かう

女の子、それを目で追ってから、冷凍庫をあさり始める

猫の鳴き声が聞こえる。

音響：猫の鳴き声（普通）

今回は何処から声が聞こえるのかも、わかる。

女の子、その方向に目を落とす。

そうだね。

今度は、猫の姿が、はっきり見える様になりました。

これは、もう、いよいよです。

しかも、誰かと一緒にいるときまで鳴き声を飛ばしてくるようになりました

きつと拾った猫の死体が原因なんでしょう。たぶん、捨てたら解決するのでしょうか。

でも、なんとなく捨てられませんでした。なので、こうやって腐らせないために、「アレ

”がある引き出しの中に、毎日氷を入れるのです。猫が見え始めてから、二か月くらい。

少女、話しながら冷蔵庫の氷を袋に詰めている。

かえせ！

【4】

後ろから父に声をかけられる

あ、お父さん。お帰り。

ああ、いやあ、手をぶつけちゃって、冷やそうかなって。

……ああ、ベッドで横になってるよ。お父さん帰ってきたら起こしてって。

……うん、大丈夫。そんなにお腹減ってないから。

ああ、うんそう。お姉ちゃん。

女の子、自分の胸を叩く

じゃあ、宿題してくる

猫が女の子に鳴きかけるが、無視して自分の部屋に向かう

音響…猫の鳴き声(普通)

引き出しを開け、そこに氷を入れる

氷を入れながら段々と、ペソをかく

その最中も、猫は鳴き続けるが、女の子はそれを無視している。

しばらくすると、猫は静かになる

女の子、それに気付き、猫の方を見る。

女の子、卵があることに気付く。

照明…フェード 赤と青との照明が混じった紫っぽい照明がセンターに当たる (卵)

卵…

卵が、ありました。

猫が卵を産むような生き物でもないことは、知っています。

ただ、現実問題——いや、幻覚なんだから、現実問題と言うのもおかしいのですが

——目の前には、猫が産んだ卵のようなものがありました。

猫、卵に見向きもせず、女の子にすり寄ってくる。

音響…猫の鳴き声(甘え)

かえせ！

女の子、それを撫でる

遂には、触れるようにまで、なりました。

女の子、恐る恐る卵に触る。

照明…フエード 赤の要素が強くなり、暖かそうな照明がセンターに当たる (卵)

あったかい。

女の子、視線を猫に向ける。

猫は卵を全く温めませんでした。

近くを通ったり、明らかに視界に入ったりしても、素知らぬ顔で、私にまどわりついて来ます。

照明…フエード 赤の要素が強くなり薄っすら緑がつく。つめたそうな照明がセンターに当たる (卵)

そうすると、あんなに温かかった卵が、どんどん冷たくなっていくので、私は、しょうがなく、猫に代わって、温めました。

照明…フエード 赤の要素が強くなり、暖かそうな照明がセンターに当たる (卵)

女の子、卵を抱きかかえるようにして横になる。

どうやら、家にいる間はずっと温めないといけないようで、家に帰ると、こうやって卵を抱えるのが、習慣になりました。だいたい、三か月間くらい。

私にしか見えないんだから、猫がやらないのなら、私がやるしかありません。そうすると、不思議なことに、段々と愛着のようなものが湧いてきます

音響…猫の鳴き声 (甘え)

猫が女の子にすり寄って来るが、女の子はそれを無視する。

かえせ！

かえせ！

照明
..
暗転

【5】

照明…ドアを開ける動作に合わせてカットイン 生地灯り

少女、玄関のドアを開ける

扉の奥から、お帰りーと声が聞こえてくる

母のようだ

…ただいまー。

大丈夫だった？

そっか、そっか。

お腹、だいぶ大きくなったね。

…じゃあ、もうすぐだね。

え？ あ、うん。いいの？ ありがとう

少女、促されて、母のお腹を撫でる。

猫の声は聞こえない

…思ったより、冷たいんだね。

あのさ、私も、こんなだった？

…そっか。

え？ ああ、楽しかったよ。

それより、ゆっくりしてなよ。大変でしょ？

大丈夫大丈夫。洗い物くらいなら、一人でできるって

うん。お父さん帰ってきたら呼ぶから。

女の子、自分の部屋に向かう。

照明…フェード 赤と青との照明が混じった紫っぽい照明がセンターに当たる (卵)

女の子、部屋に入ると、違和感に気付く。

そういえば、最近猫を見ていない。

周囲を見渡したり、猫の鳴きまねを試みたりして見るも、何の反応もない。

引き出しを開けてみると、そこには腐りかけの猫の死体があった。

女の子、腐臭に咽せこむ

かえせ！

照明…フェード 赤の要素が強くなり薄っすら緑がつく。つめたそうな照明がセンターに当たるとる (卵)

女の子、部屋に残った卵を温めながら呆然としている

照明…フェード 赤の要素が強くなり、暖かそうな照明がセンターに当たる (卵)

女の子、卵が十分温まっているのを確認して部屋から出る

かえせ！

【6】

女の子、冷蔵庫から、氷を取り出して袋に詰めている・

あ、お父さん。お帰り。

ああ、いやあ、手をぶつけちゃって、冷やそうかなくて。

え？ ああ、あれもう半年も前だよ？よく覚えてるね。

……ああ、ベッドで横になってるよ。お父さん帰ってきたら起こしてって。

……うん、大丈夫。そんなにお腹減ってないから。

ああ、うんそう。お姉ちゃん。

じゃあ、宿題してくる

ねえ、お父さん。

なんだか、こんなことばっか話してるね。

……そうだよ。

父、女の子を呼び止める

ん？ どうしたの？

名前……？ え、嫌だよ、お父さんとお母さんで考えなよ。

いや、だつてさ……

……うん。

女の子、今度こそ自分の部屋に向かう。

その歩みは遅く、何か深く考え込んでいるようだ

照明…フェード 赤と青との照明が混じった紫っぽい照明がセンターに当たる (卵)

卵が孵る時のような音が聞こえる。

照明…赤青緑のバランスが崩れ始め、サイケデリックな色になっていく (卵)

音響…卵が割れる音。(フェードで段々と音が大きくなる)

女の子、ドアを開ける

照明…ドアを開けたのに合わせて、センターの照明が消える

その後シーリングを極端に強く

かえせ！

かえせ！

割れている卵に気づき、
呆然とする

照明..暗転

【7】

照明…カット明転 生地灯り&シーリング
音響…朝の公園の環境音

あの時、猫を拾ったところ。近くの公園。
アスファルトじゃ穴が掘れないので、ここにしました。

女の子、穴を掘り始める。

ゆっくりと掘り進め、猫を穴に入れる。

すると、少し遠くから猫の鳴き声が聞こえる

音響…猫の鳴き声（普通）

女の子、驚いてその方向を見る。

猫が二匹いる。

今しがた埋めた猫とそっくりだ。

女の子、また幻覚かもしれないと不安がるが、なんとなく、それが本物だとわかる。

そっくり。

二匹の猫は、興味なさげに通り過ぎていく

かえせ！

【8】

女の子、猫の死体に、優しく土をかけていく。

はるか、みつぎ、かおり、ゆうこ、…りん、あおい、あや、はな、しおり、みか

照明…フェードと地灯りが落ちていく。そして赤、青、緑の順番でセンターに光が当たり、最終的には白になる。数秒してフェードで暗転

終わり。

かえせ！

参考文献

- 「長男・長女をのびのび育てる本」 著 平井信義
「幻覚の脳科学——見てしまう人びと」 著 オリヴァー・サックス
「不機嫌な長男・長女 無責任な末っ子たち」 著 五百田 達成
「“生まれ順”でまるわかり 長子ってこんな性格。」 著 五百田 達成
「長女気質への処方箋」 著 坂本麻紀
「兄弟姉妹の心理学 弟がいる姉はなぜ幸せになれないのか」 著 根元裕幸
「長女」のための本」 著 多湖 輝
「長男」のための本」 著 斎藤 茂太

かえせ！